

Information 広報渉外委員会から

1. NPO 法人日本脳神経血管内治療学会2008年度(2008.10-2009.9) 総会報告

第24回日本脳神経血管内治療学会総会の第2日(2008年11月14日)午前11時30分から、名古屋国際会議場にて、会員総数の半数を超える出席者(委任状提出者を含む)を得て開催されました。議長は滝和郎理事長と宮地茂会長が務め、まず故景山直樹先生、吉田晋介先生、瀧花寿樹先生に黙祷を捧げました。続いて、第23回総会報告、第24回総会報告を、それぞれ坂井信幸前会長、宮地茂会長が行い、兵頭明夫事務局長より2007年度決算が報告され、これを承認しました。さらに、2008年度予算案が説明され承認されました。

次に、11月12日の理事会で選出された次期理事長滝和郎先生、次期監事根来真先生、衣笠和孜先生、次期副会長小林繁樹先生を承認し、事務局長兵頭明夫先生の再任を報告しました。

財務委員会(兵頭明夫委員長)から、会員数増加などによる事務委託費の増加、顧問税理士・弁護士との契約、財政基盤の強化および機関誌の充実などを目的として、年会費を15,000円に改訂することが提案されてこれを承認し、国際委員会(根来真委員長)からWFITN総会が2009年6月29日から7月2日にMontreal, Canadaで開催されることがアナウンスされました。また、専門医制度委員会(宮地茂委員長)と専門医指導医認定委員会(滝和郎委員長)からも報告がありました。

次期会長(桑山直也先生)から、第25回総会が2009年11月19日(木)~21日(土)に富山市で開催され、主題が「脳血管内治療の責任と協調—社会的立場の認識と基礎知識の確認」と発表されました。また、2010年の第26回総会の案内が中原一郎先生から、2011年会長の挨拶が小林繁樹先生からありました。

今夏急逝されたPierre Lasjaunias先生の本会への貢献に感謝を捧げることが契機として、これまで本会に多くの貢献をいただいた外国人会員7名を特別会員とすることが、宮地茂会長から提案され承認されました。今回特別会員となられた先生は、Alex Berenstein先生、

Grant B Hieshima先生、Pierre Lasjaunias先生(故人)、Marco Leonardi先生、Jacques Moret先生、Luc Picard先生、Fernand Vinuela先生の7名です。

最後に、Mark Soo先生からAAFITN(2010.4.22-25)、Michael Alexander先生からSNIS(2009.7.27-31)、Marco Leonardi先生からXIX Symposium Neuroradiologicum(2010.10.16-21)のアナウンスがありました。

2. 2008-2009年度役員および委員会(敬称略)

理事長：滝 和郎

会 長：桑山直也(2008-2009)

副会長：中原一郎(2009-2010)、小林繁樹(2010-2011)

監 事：衣笠和孜、根来 真

理 事：安陪等思、伊藤 靖、江面正幸、大石英則、

郭 泰彦、桑山直也、小池哲雄、小林繁樹、

小宮山雅樹、坂井信幸、佐藤浩一、杉生憲志、

園部 真、高橋 明、滝 和郎、寺田友昭、

長島 久、中原一郎、新見康成、根本 繁、

瓢子敏夫、兵頭明夫、廣畑 優、松丸祐司、

松本康史、宮地 茂、村尾健一、村山雄一、

吉村紳一

委員会(委員長、副委員長)

総務：滝 和郎、桑山直也

財務：兵頭明夫

機関誌編集：小宮山雅樹、中原一郎

国際：瓢子敏夫、新見康成

広報渉外：坂井信幸、松丸祐司

医事社会保険：根本 繁、松丸祐司

教育：中原一郎、吉村紳一

学術：寺田友昭、伊藤 靖

専門医制度：宮地 茂、江面正幸

専門医指導医認定：滝 和郎、園部 真、兵頭明夫

倫理：高橋 明、小林繁樹

法務・医療安全：桑山直也、安陪等思

選挙管理：桑山直也、中原一郎、小林繁樹

将来構想：滝 和郎、坂井信幸

地方会整備：佐藤浩一，桑山直也，坂井信幸

3. 第24回日本脳神経血管内治療学会総会報告

2008年11月13日から15日の3日間，名古屋大学脳神経外科の宮地茂先生が，第24回日本脳神経血管内治療学会総会を名古屋国際会議場にて開催しました。また，引き続き16日には，名古屋デザインホールにて生涯教育プログラム（CEP）が行われました。今回は「脳血管内治療のサイエンスとテクノロジー，世界の中の日本」をテーマに，総会が3日間でCEPが1日の4日間の充実したプログラムでした。

総会は参加者1,300名を超え，シンポジウム4，ミニシンポジウム4，パネルディスカッション2，ランチョンセミナー16，一般講演172題，ポスター講演339題など，総演題数は616題と学会史上最大の学術集会となりました。

宮地会長の開会挨拶の後，シアターの幕が開き，ベートーベンの第9交響曲とともにオープニングのビデオが流れ，参加者の気分は高揚しました。はじめのシンポジウムは，「コイル塞栓術のアシストテクニックはどうあるべきか」でした。本学会では事前にアンケートが行われ，シンポジウムの中でその結果が公表されるという新しい試みが行われ，大変興味深く聞かせてもらいました。次に本学会のテーマであるサイエンスに関するミニシンポジウム「脳動脈瘤に対する血流評価のサイエンス」が行われました。一般講演とランチョンセミナーの後，ミ

ニシンポジウム「AVMの塞栓術はどうあるべきか，前処置としての位置づけ」では，オニキス導入前の日本の現状と，Cekirge先生よりオニキスの有用性が報告されました。特別講演は，名古屋大学生体医用マイクロ工学講座の生田先生による「未来の脳血管内治療」で，まさにサイエンスとテクノロジーの最先端を紹介していただきました。夕方からは，ビデオライブセミナーとして，それぞれライブコースを主催されているMawad先生，Cekirge先生，Moret先生がライブコースでの症例をビデオで紹介され，世界最先端の治療を見ることができました。

2日目はシンポジウム「DAVFの治療選択はどうあるべきか」で，TAEとTVEの有用性が討論され，特別講演では根来先生とPicard先生から脳神経血管内治療の歴史に関する講演がありました。また滝和郎先生の理事長講演では，日本における専門医制度と本学会の取り組みが一部英語で講演されました。宮地茂先生の会長講演では，脳血管内治療の位置づけが先生の経験に基づいて語られ，強い感銘を受けました。ポスターセッションも充実しており，多くの参会者が熱心に討論していました。最後にパネルディスカッション「脳血管内治療における医療事故，危機管理と訴訟対策」という大変重要な問題が討議されました。夜には会場を名古屋港水族館に移し，ポスター賞，論文賞の表彰（別表）とイルカショーを楽しみました。

最終日も2つのシンポジウムがありました。はじめの

表彰者

		金賞	銀賞	銅賞
論文賞		津本智幸（日赤和歌山医療センター）	泉 孝嗣（名古屋大学）	結城一郎（UCLA）
ポスター賞	実験的研究部門	田中智美（早稲田大学）	吉村紳一（岐阜大学）	濱田和秀（三重大学） 北谷優太郎（早稲田大学）
	臨床的研究部門	高尾洋之（東京慈恵会医科大学）	滝川知司（虎の門病院）	石橋敏寛（東京慈恵会医科大学）
	リサーチ部門	難波克成（自治医科大学）	南都昌孝（和歌山労災病院） 花岡真実（徳島大学）	小南修史（日本医大千葉北総病院）
	新しい技術部門	伊藤 靖（新潟大学）	松原巧明（名古屋大学）	大島幸亮（川崎市立多摩病院） 神山信也（埼玉医科大学国際医療センター）
	ベストケースレポート	片岡丈人（中村記念病院）	高橋 聡（秋田大学）	長内俊也（北海道大学） 石黒友也（大阪市立総合医療センター）
	放射線技師部門	植村武司（名古屋大学）	井上裕二（いとう横浜クリニック）	國金直也（東京慈恵会医科大学） 河原大悦（埼玉医科大学）

シンポジウム「超急性期血行再建はどうあるべきか」では、rt-PAの静注が認可された現状でのカテーテル治療の役割が討論されました。さらに、ミニシンポジウム「無症候性病変の安全な血管内治療はどうあるべきか」と「ブランク評価のサイエンス」が行われました。午後のパネルディスカッション「我が国のデバイスの遅れをどう克服するか」では、医薬品医療機器総合機構と厚生労働省から演者を迎え、相互理解を深めました。最後のシンポジウム「CASのprotectionはどうあるべきか」では、アンギオガードとプリサイズの有用性と問題点が討論され、適応の遵守を再確認しました。閉会挨拶では、宮地会長から桑山次期会長へ学会旗が手渡され、来年富山での再会を約束し閉幕となりました。

翌日は会場をデザインホールに移し、CEPが行われました。参加者は400名を超え、参加できなかった先生も出るほどで、会場は異様な熱気に包まれました。脳血管内治療のトピックスを広くカバーした35の講義と、ランチョンセミナーでは「世界から学んだこと」と題し、

留学経験を聞かせていただきました。大変勉強になる総会で充実した4日間でしたが、帰路はみなさん大変お疲れだったと思います。(文責：松丸祐司、坂井信幸)

4. 広報渉外委員会から

- 1) 日本脳神経血管内治療学会に関するメールアドレスは以下の通りです。

学会メールアドレス：jsnet-admin@umin.net

専門医制度事務局メールアドレス：jsin-hq@umin.net

会員業務担当メールアドレス：jsnet_service@nv-med.com

- 2) 脳血管内治療関連のセミナー、集会情報を学会メールアドレス jsnet-admin@umin.net までお寄せください。
- 3) 住所変更、所属変更、連絡先変更などがありましたら、会員業務担当まで速やかにご連絡ください。
- 4) 学会ホームページ <http://www.jsnet.umin.jp/> に適時重要な情報が公告されますので、常にご注意ください。